

イーストスプリング・  
アジア・ソブリン・オープン

追加型投信／海外／債券

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン」は信託約款の規定に基づき、2018年9月28日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、日本を除くアジアの政府、政府機関および国際機関の発行する現地通貨建て債券を実質的な主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。

ここに、その運用状況をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼申し上げます。

作成対象期間 2018年4月21日～2018年9月28日

第145期 2018年5月21日決算 第148期 2018年8月20日決算

第146期 2018年6月20日決算 第149期 2018年9月20日決算

第147期 2018年7月20日決算 第150期 2018年9月28日償還

第150期末	償還価額	6,804円30銭
	純資産総額	834百万円
第145期～ 第150期	騰落率	-4.0%
	分配金合計	100円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

[お問い合わせ先]

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

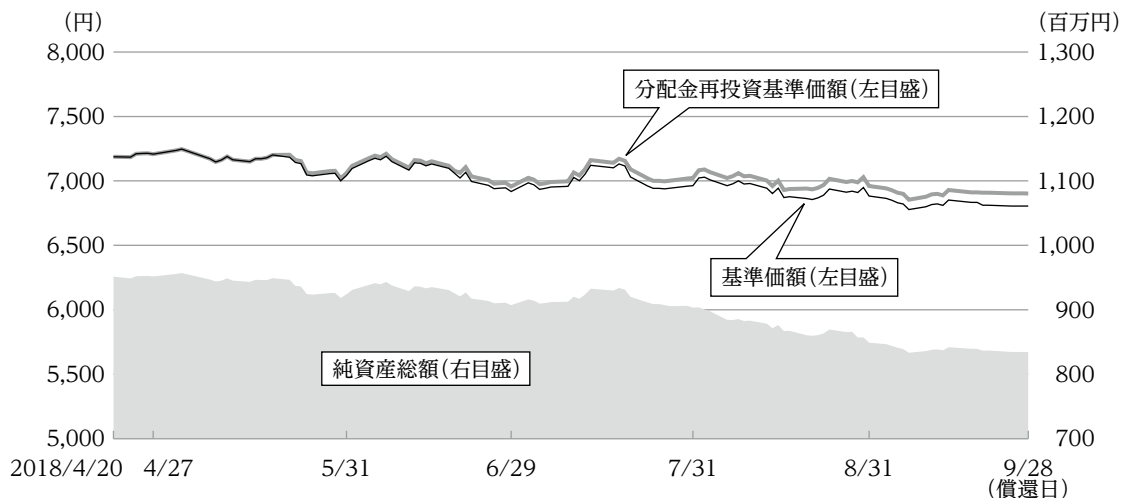
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」のタブを選択 ⇒ 「ファンド一覧」内の「償還ファンド一覧」を選択 ⇒ 当ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2018年4月21日～2018年9月28日)



第145期首	7,187円
償 還 日	6,804円30銭 (既払分配金100円)
騰 落 率	-4.0% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 基準価額の推移をわかりやすく表示するため、分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。したがって、前作成期までとは形状が異なる場合があります。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

下落要因

- ・インド、インドネシア、フィリピンなどの債券価格が下落(利回りは上昇)したこと。
- ・インド、インドネシアなどの通貨が対円で下落したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2018年4月21日～2018年9月28日)

項目	第145期～第150期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	49円	0.705%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、7,002円です。
(投信会社)	(25)	(0.357)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(23)	(0.333)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	24	0.349	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(12)	(0.166)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(13)	(0.182)	キャピタルゲイン税等
(その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用 (マイナス金利相当額)
合計	73	1.054	

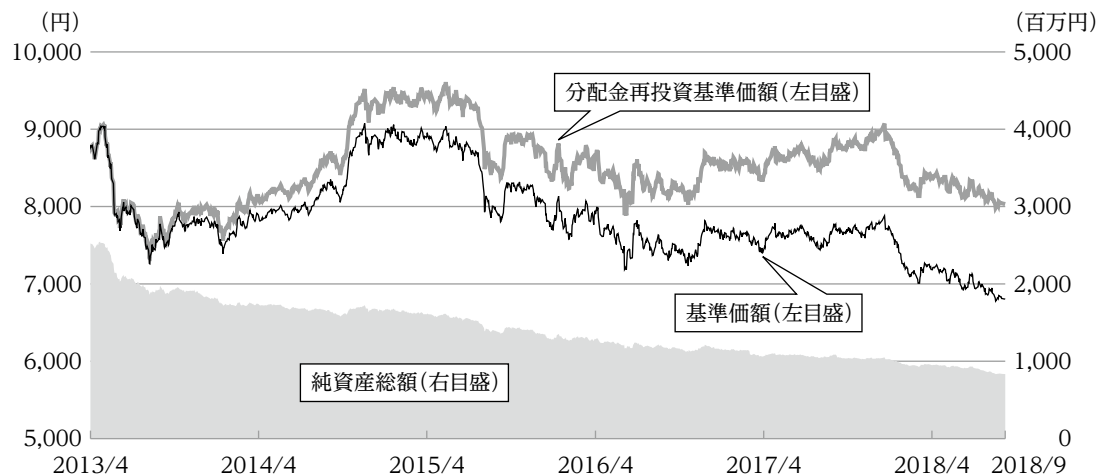
(注1) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2013年4月22日～2018年9月28日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 基準価額の推移をわかりやすく表示するため、分配金再投資基準価額は、2013年4月22日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。したがって、前作成期までとは形状が異なる場合があります。

決算日		2013/4/22	2014/4/21	2015/4/20	2016/4/20	2017/4/20	2018/4/20	2018/9/28 償還日
基準価額	(円)	8,795	7,894	8,897	7,918	7,405	7,187	6,804.30
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	240	240	240	240	240	100
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	-7.5	16.0	-8.4	-3.5	0.2	-4.0
純資産総額	(百万円)	2,526	1,741	1,607	1,285	1,060	951	834

\*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### アジア債券市場

当作成期のアジアの現地通貨建て債券は、米国の利上げペースの加速観測に加え、中国の景気減速懸念や米中貿易摩擦の激化などを背景に下落（利回りは上昇）しました。アジア債券市場からの資金流出に伴う自国通貨の下落圧力に対し、アジア各国の中央銀行は利上げに踏み切る動きが見られました。国債の外国人保有比率が高いインドネシアでは、2018年5月以降5回にわたり利上げが行われましたが、通貨安の動きは止まらず、債券市場も大幅に下落しました。フィリピンやインドでもインフレ圧力の高まりを背景に利上げが行われました。8月以降はトルコリラやアルゼンチンペソの急落を受けて投資家のリス

ク回避の動きが強まる中、米国債は堅調（利回りは低下）となり、米国債と相関の高い韓国、シンガポールなどの債券も堅調となった一方、インドなどの債券は財政収支と経常収支における「双子の赤字」が嫌気されて下落しました。

### 為替市場

韓国ウォン、シンガポールドルなどは対米ドルでは上値が重いながらも、円安の進行により対円では上昇しました。一方、インドルピーとインドネシアルピアなどは、多くの新興国通貨の下落圧力が強まる中で「双子の赤字」の状態が嫌気され、対円、対米ドルともに下落しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジアの現地通貨建てのソブリン債に投資を行いました。なお、繰上償還の決定を受けて、2018年8月下旬以降マザーファンド受益証券の全解約を行いました。

### イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド

主として、日本を除くアジアの現地通貨建てのソブリン債券に投資を行い、信託財産の

着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

当作成期は通貨が堅調となった韓国などの保有がプラスとなりました。一方、インフレ懸念の高まりから債券と通貨が下落したインド、外国人投資家の大幅な資金流出により債券と通貨が下落したインドネシアなどの保有はマイナス要因となりました。なお、繰上償還の決定を受けて、2018年8月下旬以降保有する債券を全売却しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いました。

分配原資の内訳（1万円当たり、税引前）

項目	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2018年4月21日 ~2018年5月21日	2018年5月22日 ~2018年6月20日	2018年6月21日 ~2018年7月20日	2018年7月21日 ~2018年8月20日	2018年8月21日 ~2018年9月20日
当期分配金 (円)	20	20	20	20	20
(対基準価額比率) (%)	0.278	0.284	0.284	0.291	0.293
当期の収益 (円)	20	19	20	20	9
当期の収益以外 (円)	—	0	—	—	10
翌期繰越分配対象額 (円)	1,798	1,798	1,800	1,803	1,793

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドにつき一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

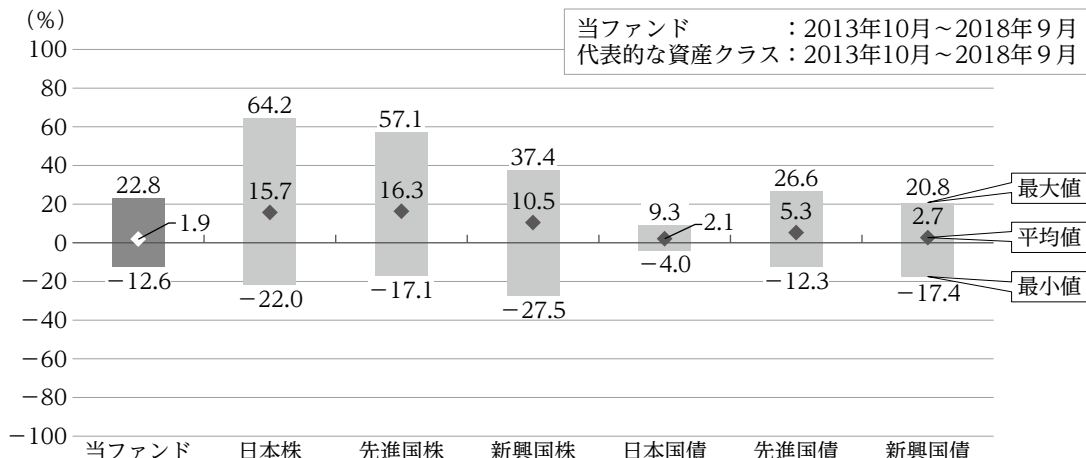
## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2006年4月25日から2018年9月28日（当初、2026年4月20日）まで	
運用方針	イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本を除くアジアの政府、政府機関および国際機関の発行する現地通貨建て債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン	イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド	日本を除くアジアの政府、政府機関および国際機関の発行する現地通貨建て債券を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として毎決算時（毎月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、主に利子・配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。また、3月、9月の決算時には利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P. Morgan Global Emerging Markets ローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。



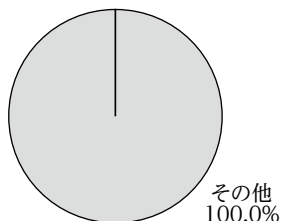
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

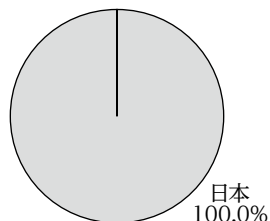
#### 組入ファンド

2018年9月28日現在、有価証券の組入れはございません。

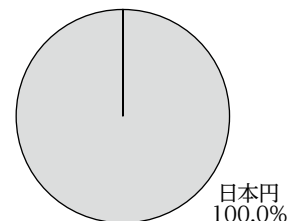
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	第145期末 2018年5月21日	第146期末 2018年6月20日	第147期末 2018年7月20日	第148期末 2018年8月20日	第149期末 2018年9月20日	償還日 2018年9月28日
純資産総額 (円)	946,538,261	920,881,572	920,179,109	860,520,013	836,698,430	834,512,540
受益権総口数 (口)	1,317,834,393	1,311,287,109	1,308,962,438	1,253,787,570	1,228,366,510	1,226,449,235
1万口当たり基準価額 (円)	7,183	7,023	7,030	6,863	6,811	6,804.30

\* 当作成期中（第145期～償還日）において追加設定元本額は6,384,960円、一部解約元本額は103,917,904円です。